

＜福井＞新型車両の内装について ～ 福井を走る電車 × メードイン福井の素材・デザイン ～

2022 年 9 月 30 日

福井鉄道株式会社

セーレン株式会社

福井鉄道株式会社（代表取締役社長：村田治夫、以下、「福井鉄道」）は、2023年3月に運行開始を予定している新型車両の内装デザインを決定しました。座席シートは、セーレン株式会社（代表取締役会長：川田達男、以下、「セーレン」）がデザイン・製造した生地を採用しています。

本取り組みは、福井県内（越前市～福井市）を運行する福井鉄道と、車輦内装材製造の大手であるセーレンがコラボして実現したもので、本取り組みを通じて、地域の皆さまやご乗車のお客様に福井の技などをPRできるものと考えています。北陸新幹線の開業により、新たに本県を訪れるお客様にもお楽しみいただけるよう、新型車両には福井らしさを盛り込みました。また、シートには環境にやさしいセーレンの「ビスコテックス」を採用し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

車両名称：FUKURAM Liner（フクラムライナー）

座席：ロングシート48席



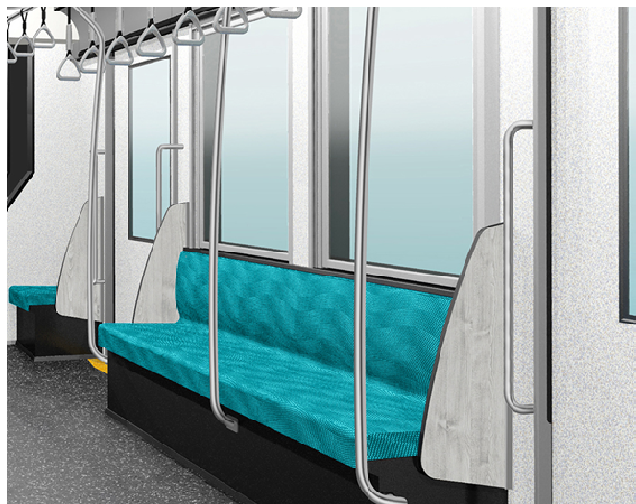
車両内装イメージ

※実際の色調と若干異なります

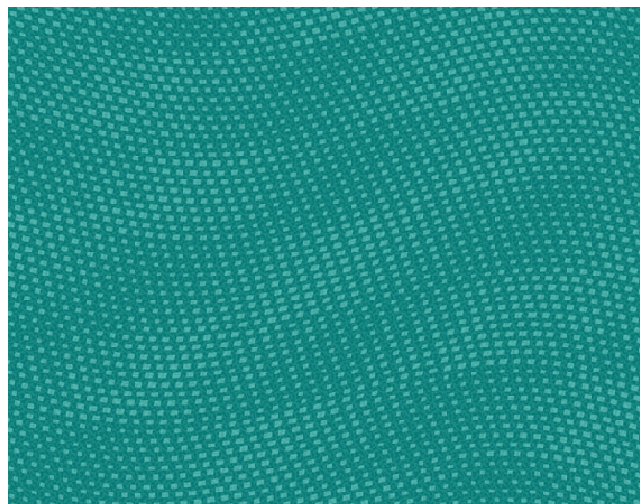
■お問い合わせ先（平日9時～17時）

☎ 福井鉄道株式会社鉄道事業本部 0778-21-0706 / セーレン株式会社総務部 0776-35-2113

■座席シート



座席シートイメージ



水の流れを感じさせる爽やかなデザイン

- ・ 福井（セーレン）で製造・デザインした座席シート
- ・ 福井鉄道沿線の水の張られた水田や日野川など、豊かな水資源をモチーフとして、水の流れを感じさせる色柄を採用した爽やかなシートデザイン
- ・ ビスコテックスによるオリジナルデザイン表現、コーティング剤不使用で、リサイクル可能な環境にやさしい生地
- ・ 毛倒れを防止する低パイル化仕様により、長期間オリジナルデザインを保ちます

ビスコテックスの製造工場



生産ラインでエネルギーの使用量を従来の 1/5
～1/20 に削減。



セーレンの生活科学総合ステーション（坂井市）

ビスコテックスは、ハード・ソフト・ケミカルから生産技術まで一貫開発による先進のデジタルプロダクションシステムです。そのものづくりは、「地球にやさしいシステムの基本方針 4 カ条(*)」に基づいた、無公害型の生産ラインを実現。人と地球環境保全のため「省資源」「省エネルギー」に取り組んでいます。

*地球にやさしいシステムの基本方針 4 カ条

1. 環境関連の法律の遵守と EMS の継続
2. 化学物質の適正な保管・取扱・管理
3. 汚染排水の浄化と廃棄物の適正管理・削減
4. 電力・燃料の使用削減と有効利用

■福井らしさの演出

- ・ 出入口付近のつり革は、ふくいを代表する「カニ」「レッサーパンダ」をデザインしたものを使用



- ・ 車内のモニター（４台）で、西山公園や蔵の辻、足羽山公園など地元観光地を映像でご紹介



画像はイメージ

以 上